

設問1-4

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

日頃の子どもに対する自分を見直す機会をいただけたように思います。二度、長男を参加させていただきましたが、その時と今回では、また違った思いを感じています。子ども一人一人違い、自分の対応や思いも違うのだと気付きました。

子どもの成長を信じ、子離れする時期であることを再認識しました。手を離して、目を離さないことに気を付けていきたいです。

何かをやる前にすぐに手をさしのべるのをやめて、子どもを信じてみようと思いました。

何度このセミナーを受講しても、いろいろな方の意見が聞けて、「うん、うん。」と同調することがたくさんあり、みんな思うことは同じだな…また、こういうところは気を付けていかなきゃ…と考えさせられました。

今の私がどれだけ普段から口出ししているか、あらためて気づかされました。だまって見守ること、ここぞ！というときに親が道を示すことの大切さが大事ななあ。

私は過許可過ぎていたのをあらためてわかりました。

毎年思いますが、親が口を出しすぎているなど反省させられます。今年は！自立のために親ができることを考えようと思います。

子どもと親の距離は少し離れたところで信頼をしているという気持ちを見せれば、口うるさい言葉は必要ない。

DVDがとてもよかったです。おの100に挑戦する私たち保護者が考えなければならない事柄のエッセンスがつまっていたと思います。“待つこと”は難しいですが、やってみようという意見がグループの中でもたくさん出たので、自分も少し頑張らないとなあと今は思っています。

親はみんな子どものことを思うがあまり、手を出し口を出すのだが、結局、本人のためになっていない。子どものことを思うならば、少しがまんして子どもの成長を見守らなければならないと感じた。

あらためて親が子どもに接する態度・姿勢を考えさせられました。“かわいい子には旅をさせろ”といいますが、我が子にもそうしたいと思います。

子どもの行動を待って見守ることからしてみようと思う。

親として、子への接し方をあらためて問われると、うまく答えが出てこなかった。普段の子への接し方がいいかげんとはいわないが、もう少し関心をもち、母親任せにしないようにと反省しました。

どうしても気になって、子どもを手伝ってしまいます。でも、厳しくしたり甘やかさない、自分で頑張らせることが大切なんだと思いました。これも子離れできていないということなのでしょうね。子どもが自分で努力をして自立をするチャンスをつぶしているのだと反省させられました。信じて待つことにしてみようと思います。

子どもに対する接し方、声のかけ方など、大きな信頼をもとに、親の方がつらくて先に動くのではなく、もっと子ども自身に考えさせて行動するのを見守っていこうと思いました。

他の親の方と意見交換ができ、なかなか普段聞けないことなどが聞くことができ、良かったと思う。

とてもいいビデオでした。グループで話をしたのは気づかされることも多く、よかったです。

普段自分から過干渉になっていることをあらためて感じました。

親が我慢して待つということが何よりも大切なこと。頭では分かっているがなかなかそれができないのが今後の課題だと思いました。

<p>設問1-4 (セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)</p>
<p>見守ることをとても大切だと思いました。</p>
<p>子離れ・親離れについてあらためて考えることができました。</p>
<p>他の親の意見が聞けてよかったです。</p>
<p>つい口うるさく言ってしまうがちなこの時期にハッと気づかせてもらえる内容で、とてもよかったです。自分の気づきを大切に、子どもを信じて待つ努力をしようと思います。</p>
<p>鍋蓋の行商のビデオ、18年前に新入社員として入社した際、営業職の研修として見たとき以来、すごく久しぶりに見ました。前は売る側の視線で見えていたが、子を見守る親の視線でも見ることができ、とても新鮮でした。父親・母親のお手本のような姿が描かれていたが、少しでも近づけるよう意識したいと思いました。</p>
<p>親の対応をスクリーンや周りの親御さんのお話からあらためて感じさせていただきました。</p>
<p>親同士も名前が分かるようにしてもよいかと思います。グループディスカッションで今の悩みや問題も共有できてよかったです。</p>
<p>お母さんたちからいろいろな話を聞いて、同じような悩みを持っている人、そしてそれに対しての話が聞いて良かったです。</p>
<p>3回目の受講になりますが、毎回見守ることができない親であることを実感させられています。どうしても失敗する前に手を出してしまう、口を出してしまう、失敗から学ぶ経験のない子育てになっているなど、反省することばかりです。今年は特に口応えや自分の思いこみの強い主人公と最近の我が子が重なり、それに対して説教している私のやり方よりも、自分が痛い経験をもって実感することが大きな糧になるんだということを感じさせられました。夏休みに入り、接する時間が増えますが、関わり方を考えなおすいい機会になりました。ありがとうございました。</p>
<p>いろいろな考え方があり、自分が変わってみようという思いになりました。親や子も周りに感謝し、支え合いができるよう生活していきたい。</p>
<p>日頃一生懸命で子どもとの接し方などないので、振り返る機会となりました。我を振り返り、ほど良い距離感をもって子と接してみようと思います。</p>
<p>一人の子で、大人と接することがほとんどで、我慢という忍耐とかが欠如しているのは明らかですので、体験してもらえるとと思っていますが、体調には注意してほしい。心配。</p>
<p>子どもに対して同じような思いを抱いている他の親御さんと意見交流できてよかったです。思いを共有することで自信になり、子どもとの接し方でも厚みをつけて接することができると思います。またこのような経験をさせていただけることに、深く感謝申し上げます。今回のおの100が無事成功に終わることを祈っています。</p>
<p>親も我慢し見守ることも大事。子どもの感動を消していると思いました。</p>
<p>親として見直さないといけないことが多々出てきて、あらためて親としての立場を考えさせられました。</p>
<p>VTRのように、大作の母のように、待つということができず、つい口だしをしたり過干渉になりがちなので、子どもの気持ちに寄り添い、待つということが大事と、あらためて他の保護者の方と話をしていたと思いました。</p>
<p>同じ気持ちの親同士で話ができよかった。他の家庭の考え方について少しでも話げできたのでよかった。今回のおの100に参加するにあたっての考え方を理解できた気がします。</p>

設問1-4

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

「子どもに対する接し方」これを機会に、親として直していきたいと思います。今までレールを敷いて待っているところがありました。そのため、子どもが自分で考えたり、苦労したりすることなど、判断力をうばっている。

他の方々の話が聞けてとても良かった。私もやってみようと思えるアドバイスがありました。

なべぶたの話は、最後に相手の気持ちを自分のことと捉え、誠実な姿が、買い手と売り手に気持ちが通じたのだと思います。そこには、親をはじめ、支えてくださるたくさんのかかわりからくる人々との出会いがあってこそ、感謝する気持ちを親子で知るきっかけとなりました。

普段、なかなかあらためて考えることのないテーマで、“子育て”について様々なことを自分なりに考えることができました。

いろいろな保護者の方の意見や思いが聞けてとても良かったです。

映画を見るのは二回目ですが、あらためて子どもへの声かけ、見守り方など、待つ・愛情・かかわり方の大切さを感じました。どの家庭にもそれぞれ課題があり、努力しているので、あせらずに子どもと見守り信じたいです。

親の言動は責任がついてくると思っています。

親の子どもに対する接し方を考えることが大切と思いました。自問自答しながら。

子どもが頑張るのだから、親も頑張る。一人の力で子育てするのではなくみんなの力もかりて、育てていく。

経験者の方と意見交換できてとてもよかったです。他の方も私と同じように思っていて安心しました。

自分の子どもの日常を考えると、子どものためと言いつつ、自分のこうあってほしいという理想を押しつけているのかなと考えさせられました。信じているけど、子どものペースに合わせられない私がいるなと思いました。待って見守る親でありたいです。

子どもを“100km”に出すにあたって、親の心構えが大切だと思った。

自分が見守る(待つ)がまだまだできていないことに気付かされました。子どものやる気をもっと引き出すような声かけをしていきたい。

親が子を信じて待つ・見守るということが、子の成長を促すのではないかと痛感しました。

わがまま病、あてはまる場所があるので、おの100本番まで親のかかわり方も気を付けて、おの100を体験して、少しでも落ち着いてくれると嬉しいです。

普段何気なくしている子どもとの接し方をあらためて考えさせてくれました。子どもの自立のために親のかかわり方が大切だと考える時間ができ、今後活用して親も成長したいと思います。

ビデオや団長さんのお話で、わかってはいても、つい忘れてしまっていた気持ちや子への対応、自分に照らしあわせて振り返り、考えることができました。また、参加保護者の方と意見交換や話ができ、良い機会でした。

映画の中で、母が、心配する気持ちもぐっとおさえて成長を見守って厳しくつきはなしていたが、「〇〇が嫌やねん。」となったときに、「そっか！いやだよね。」と同調して、そのあと「でも頑張れ。」と伝えていくのだと思っていたので驚きました。

他の学校の保護者の方と普段話す機会がないので、とてもよい刺激になりました。

何回見ても、てんびんの詩を見ると見守ることが大切だなあと思いました。

設問1-4

(セミナーを受講されて、何でも結構ですからご意見をお聞かせください。)

グループディスカッションをして、他の保護者達もみんな自分と同じ思いをしているんだなと思いました。こういう時間を取ることによって、育児についてじっくりと考えることができて良かったと思います。

いかに私(親)が子どもにいろいろなことに先々手を出しているか、あらためて反省しました(笑)

待つこと、見守ってやることのできる親になれるよう、自分も変わりたいなと思いました。

「過許可」大いに反省させられました…。自己判断できないところは、ここにも原因が…と。子どもとの距離の話、実践していきたいです。

子を育てる＝親の大修業！！その通りだ。

ビデオの内容が、トントン拍子にいかないところがよかった。自分の子どもが13才であの様子なのはこわいと思った。お母さんの気持ちになるとものすごく情けなくなりましたが、周りの人のおかげで成長していく様子を見ていたら、“親はなくても子は育つ”んだなと思いました。あと、“感動こそ生きる力”という言葉にジーンとしました。

100km歩きは子どもの挑戦だと思っていましたが、親も子離れへの挑戦だと分かりました。大作の母のように、待つことへの挑戦を課されていると分かりました。

子どもを信じて、温かく見守ることが大切だと感じました。家ではつい1から10まで言ってギリギリの時間で自分のことをやっている日々です。必要なことだけ声かけをすることが、子どもの成長だと感じました。

子どもは、親の背中を見て育つ。私自身、自分に強く生きていかななくてはと思った。

いろいろな方々が参加される中で、私たち夫婦が思っていること以上に、いろいろな経験・考え等ができるのでは、とあらためて思いました。

ビデオを見て、想像以上に刺さりました。親が毅然とした態度で見守るということは、ガミガミ言うより大変だと思いました。そういうことができていないので、やっぱり私はまだ子離れできていないし、子どものことを信じていないのかなと思いました。わりと、子離れできている方だと思っていたので、ショックでした。

素晴らしいビデオでした。ためになりました！

“子どもは変わらないが、親が変わることができる”にドキッとしました。その通りです。

普段、子どもに対する「優しさ」は本当は優しさじゃないかもしれないと思いました。接し方を見つめ直したいと思いました。